

学術会議運営支援システム — アカデミックカンファレンス —

SATテクノロジー・ショーケース2018

■ はじめに

多くの中小学会は年次大会を全国各地で開催し、開催地にいる学会役員が大会実行委員長となり、大会の運営を引き受ける。大会への参加申込・講演申込等の集計、講演プログラム作成等のすべての作業が少人数の人に集中してしまう。研究・教育の傍らで大会を運営するスタッフの負担を軽減するために、学会運営経験の豊富な大学教授と共同で学術会議運営支援システムを開発した。本システムの利用によって大会に関するすべての情報が集約・共有され、大会の運営が効率的に行われることが可能となる。以下に本システムの主な特徴と機能について紹介する。

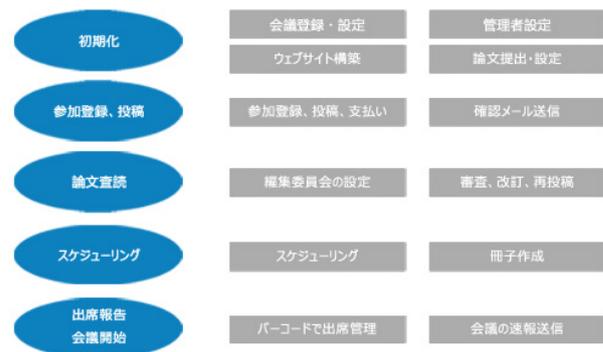
■ 主な特徴

1. システムの導入やソフトのインストールの必要がない
クラウドサービスなので、ブラウザがあればどこからも利用できる。
2. 簡単
わずか3分で学術会議の新規登録ができ、大会専用のホームページも簡単に作れる。直感的なインターフェースでマニュアルなしで簡単に操作できる。
3. 多機能
参加申込、投稿・査読機能、参加費等の徴収代行、講演要旨・論文集、受付用名簿、名札の出力など学術大会運営に必要なすべての機能をもっている。
4. 情報一元的管理
すべての情報がシステムに集約され、関係者間で共有され、担当者の役割や進捗状況が一目瞭然となる。
5. 多言語
多言語対応で、日英中の3か国語メニューが使える。
6. 安全・安心・安定
 - 個人情報漏洩の防止などのセキュリティ対策に細心の注意を払っている。
 - 安定性の高いGoogle Cloud Platformを利用している。
 - 万が一の事故や災害に備えて、異なるデータセンターにバックアップを行っている。

■ 主な機能

1. 参加申込
会員種類、早期申込割引等による参加費の設定が可能である。
2. 投稿・査読機能
査読者の割り当て、査読コメント、掲載(発表)の可否の判断に関する情報がすべてシステムに集約されるので、関係者間で情報共有される。
3. カスタマイズ
各種画面と印刷用フォームや査読者選考、査読ワークフローがカスタマイズできる。
4. 論文出力
原稿はMS-wordファイルのほか、LaTeXソースもサポートするので、複雑な数式や化学記号も出力可能である。

会議運営の流れの例を以下に示す



代表発表者 田 寛之(でん ひろゆき)
所 属 アカデミックエクスプレス株式会社
問合せ先 〒305-0047 つくば市千現 2-1-6 C-A-18
TEL:029-828-7390 FAX:029-828-7391
den@academic-express.com

■キーワード: (1) 学会運営支援システム
(2) クラウドサービス
(3) 参加申込
(4) 投稿
(5) 査読
(6) LaTeX

■共同研究者: 劉 雪峰
(新潟大学・大学院自然科学研究科)